

ユキノチカラプロジェクト協議会

地域資源：農林水産物、文化
 事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント
 事業主体：協議会（町内事業者）

- 「豪雪」をデザインのカで「魅力」へ変えるという新たなコンセプトの下、西和賀町の地域ブランドを企画運営。町内事業者、自治体、信用金庫、デザイナー等が連携し、6次化商品の開発やイベントなどを実施。

基本情報

- 所在地：岩手県西和賀町
- 選定表彰：
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」(R4) ビジネス・イノベーション部門
 - ・2021ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 地方創生担当大臣賞
- 主力商品・イベント：
 - ・農産物（米、ワラビ、牛乳、野菜等）加工品
 - ・雪体験ツアー
- 活用した支援施策：
 - ・県立西和賀高校魅力化プログラム

取組の概要

- 西和賀町、北上信金、デザイナー等と連携し、地域資源を活用した加工品などの商品開発を行い、ユキノチカラブランドで販売促進、シティプロモーションにも繋げる。
- 雪あかりやかんじきトレッキングなど、雪国文化を体験できる「ユキノチカラツアー」を実施し、首都圏等からの誘客。
- 地元高校と連携した社会学習プログラム「西和賀高校×ユキノチカラ『魅力発見ラボ』」を実施し、人材育成も含めた地域の課題解決と魅力発信に取り組む。



ユキノチカラツアー

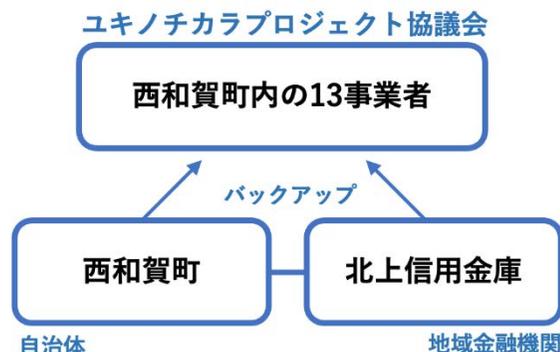


ユキノチカラブランド商品群



魅力発見ラボ

体制図



取組の成果

- 開発した商品数：13事業者30種類以上
- 西和賀町ふるさと納税の企画及びPRを担当し、認知向上に向けた地域ブランド（町内の産業・商品）のプロモーションを開始。（R5～）

ウェブサイト▶<https://yukino-chikara.com/>

○豊かな水産資源（フカ・ホヤ等）を活用し、食品から化粧品まで幅広い商品を開発し、「kesemo」としてブランド化。メディアで紹介されるほか小学校テキストへ掲載されることにより同市の水産加工業の認知度が向上。

基本情報

- 所在地：宮城県気仙沼市
- 選定表彰：
 - ・ 第8回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
 - ・ 令和元年度フード・アクション・ニッポン・アワード 入賞
- 主力商品：
 - ・ 水産加工製品ブランド「kesemo」(調味料、化粧品、化成品、ペットフード等)
- 活用した支援施策：
 - ・ 新しい東北事業助成金
 - ・ 地方創生加速化交付金
 - ・ 地方創生推進交付金

取組の概要

- 地元企業の知恵と想いを結集させ、気仙沼市の豊かな水産資源を活用した水産加工製品ブランド「kesemo」を立ち上げ。機能性食品や調味料、化粧品、化成品、ペットフードなど、市場に左右されない高付加価値でさまざまな領域の加工品を開発。
- フカコラーゲンを使った洗顔料や化粧品、ホヤを使った醤油やソース等の特徴的な新商品の開発、情報発信を実施。
- 開発した商品のメディアでの紹介や、全国の小学校で使用されるテキストに掲載されるなど、気仙沼の水産加工業をアピール。
- ホヤドレッシングを学校給食に提供するためにクラウドファンディングを実施。

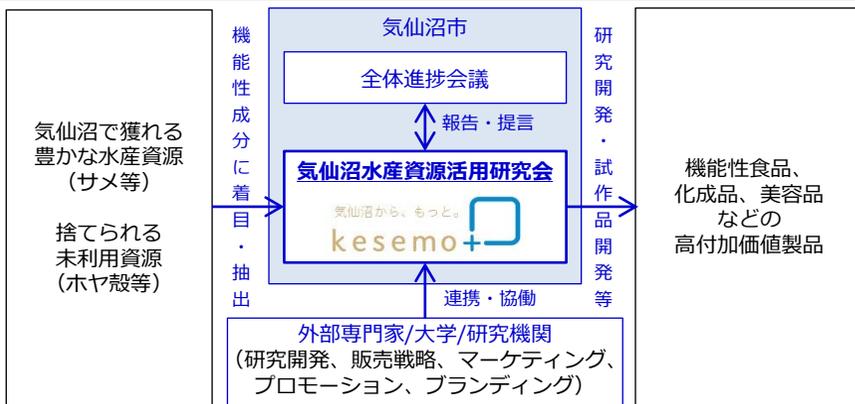


ブランドネーム「kesemo」の共通ロゴ

開発商品

イベント等での研究会のPR,商品販売

体制図



取組の成果

- 研究会に参加している企業：21社
- 特徴的な新商品の開発、情報発信
- 開発商品数：17品

ウェブサイト ▶ <https://kesemo.com/>

地域資源：文化・歴史、観光地、農林水産物、空き家、荒廃農地
 事業分野：食品、観光・旅行、福祉、エネルギー、情報通信
 事業主体：地域協議会

- 蔵王連峰や温泉などの観光資源に加え、陶芸体験や観光農園などの体験コンテンツを充実させ、空き家を活用した宿泊、地域食材を使った食とパッケージとして「農泊」を提供することで関係人口・交流人口の増加を図る。
 さらに、宿泊施設にWi-Fi環境を整備し、テレワークやワーケーションを促進。

基本情報

- 所在地：宮城県蔵王町
- 選定表彰：
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・日本版「アルベルゴ・ディフーズ」認証
 - ・農泊
 - 観光・体験コンテンツ
 - 宿泊（空き家の活用、Wi-Fi整備）
 - 食（農家レストラン、地域食材を使った弁当、ケータリング）
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 陶芸体験等、地域の文化・歴史に触れることのできる新たな体験コンテンツの導入、地域の食材を使った新メニュー開発ワークショップの実施など、観光資源を充実。
- コロナ以降はワーケーション、マイクロツーリズム等の新たなターゲットに切り替え、コロナ前よりも観光客が増加。
- 廃温泉や木材等の再生可能エネルギーの活用や農福連携にも取り組む。
- 宿泊施設等においては障害者や高齢者等、社会的マイノリティを積極的に登用。



空き家を改修した宿泊施設



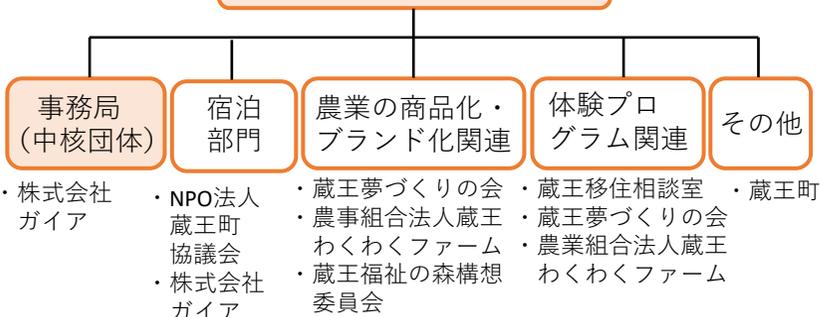
ワーケーションにも対応



体験コンテンツ（陶芸体験）

体制図

蔵王農泊振興協議会



取組の成果

- 農泊関連売上：500万円（H30）→3億2千万円（R3）→5億円（R4見込）
 R4内訳 宿泊・食事等4億円、宿泊者物件購入金額1億円
- 宿泊者数：695人（H30）→3万8千人（R3）→4万2千人（R4見込）
- 新規雇用者数：18人（R3）20人（R4見込）
- 農泊振興協議会が関わる移住相談件数 150人（R4見込）
- 農泊振興協議会が関わる移住者数 18組（R4見込）

ウェブサイト▶<https://zao-nouhaku.jp/>

- 「農業を食業に変える」を経営理念に掲げ、米や野菜の生産、養豚と豚肉加工のほか、地域農産物の直売所、農家レストランの運営、食育や観光につながる体験教室、キャンプ場を活用した農泊を実施。

基本情報

- 所在地：宮城県登米市
- 選定表彰：
 - ・ 第6回「ディスカバー農山漁村の宝」(R1)
 - ・ 6次産業化アワード食料産業局長賞 (R1)
 - ・ 地産地消等優良活動表彰農林水産大臣賞 (R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・ 豚、米、野菜、ブルーベリー
 - ・ ウィナー作り体験、交流型ツアー
 - ・ キャンプ、オンラインウィナー体験
- 活用した支援施策：
 - ・ 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
 - ・ 都市農村共生対流総合対策交付金
 - ・ 農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 100戸以上の地元契約農家で構成される「伊豆沼農産直売会」や、地元の養豚家で構成される「伊達の赤豚会」等と連携して生産した農畜産物や加工品を直営の直売所やレストランで販売。
- 子どもたちがウィナー作りなどで生産過程を理解できる「食農体験教室」を開校しているほか、自社土地内に3万m²の食農体験ファーム「ラムサール広場」をオープン。
- 伊豆沼を訪問した観光客が自然散策や地元農畜産物を使ったバーベキューが楽しめる。地元の高齢者がガイド・受入をする農村体験、オンラインウィナー体験も人気。



豚肉を使ったハム、ソーセージ

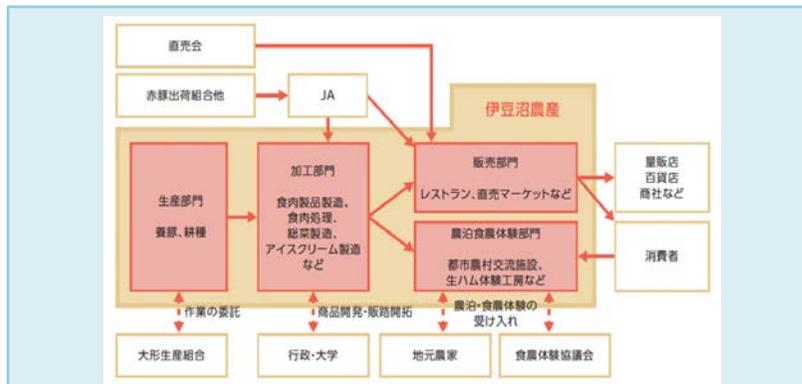


直売所「くんぺる」店舗外観



手作りウィナー体験

体制図



取組の成果

- 100名以上の地元農家の生産物を直売所で販売し、約4.5億円の売上 (R4)
- 「食農体験教室」の利用者：年間3,000人超
- キャンプ、オンラインウィナー体験を活用した農泊事業の利用者：年間1,000組超

- 休耕地における農業を心身の不調を抱える者の就労支援の場として活用。農泊事業を通じた就農や定住支援を行うとともに、農福連携による新たな商品開発など、「農を通じた多様な人が豊かに暮らすまちづくり」を目指す。

基本情報

- 所在地：宮城県石巻市
- 選定表彰：
 - ・第3回チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞入賞 (R1)
 - ・「新しい東北」復興・創成顕彰 (R2)
 - ・ノウフク・アワード2022 (R4)
 - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」(R5)
- 主力商品・イベント：
 - ・ホップ、サツマイモ
 - ・ホップ加工品（クラフトビール等）
 - ・農泊
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農福連携対策）(R2)

取組の概要

- 津波被害等により増えていた休耕地を心身の不調を抱える者の就労支援の場として活用し、ホップやサツマイモを栽培。
- 「いしのまきグリーンツーリズム協議会」を設置し、シェアハウスを活用した滞在型農業体験プログラムの提供を通じ、就農や定住を支援。
- 自社栽培ホップを使ったクラフトビール、干し芋を製造・販売するほか、市内社会福祉法人と連携してホップソルトを製造・販売することで、農福連携による就労支援に貢献。
- ホップ苗株植えのボランティアイベント、収穫体験ツアー、企業研修受入を実施し、地域活性化に寄与。



ホップ収穫作業風景



企業研修の様子

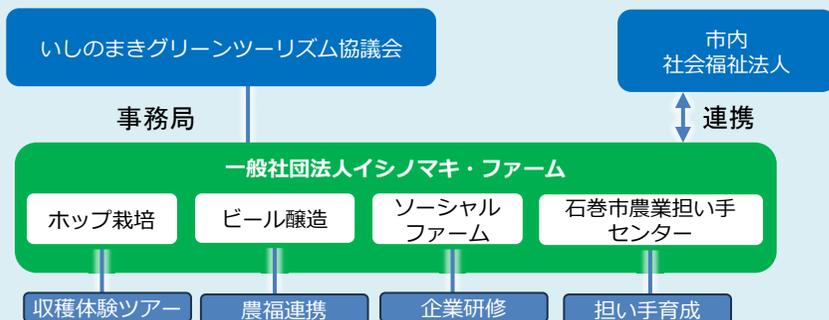


農村留学プログラム



巻風干し芋

体制図



取組の成果

- 作付面積 : 0.2ha (H30) → 1.1ha (R4)
- 就労訓練人数 : 22人 (H30) → 135人 (R4)
- 就農・定住者数 : 3人 (H30) → 17人 (R5)
- 加工品等売上高 : 3百万円 (R2) → 34百万円 (R5)
- 体験プログラム・企業研修参加者 : 180人 (H30) → 377人 (R5)

ウェブサイト▶<https://ishinomaki-farm.com>

○ワイナリー（醸造所、ショップ、レストラン）を拠点に、ワインツーリズム、収穫祭等のイベントを実施し、震災からの復興、地域の活性化を目指す。

基本情報

- 所在地：宮城県南三陸町
- 選定表彰：
 - ・食かけるプライズ2022
 - ・日本ワインコンクール2019 奨励賞
 - ・第8回サクラアワード2021ゴールド受賞
 - ・第9回サクラアワード2022シルバー受賞
 - ・第11回サクラアワード2024シルバー受賞
- 主力商品・イベント：
 - ・ワイン
 - ・ワインツーリズム
 - ・加工食品（ワインに合うオリジナル食品）
 - ・レストラン
- 活用した支援施策：
 - ・ブランド化・酒蔵ツーリズム補助金（R4）

取組の概要

- 震災後に建設された仮設の水産加工工場を令和2年に醸造所として改修し、ワインの生産を開始。
- 地元企業と連携した「志津川湾R&Bクルーズ」（漁場・ワイナリー見学、ランチセット）や、三陸沿岸部のワイナリーと連携した「ワインツーリズムさんりく」に取り組む。
- ブドウ畑での収穫祭、海中熟成のワイン会など、年間を通じ、ワインを起点とした参加者との交流を推進するイベントを定期的で開催。
- 漁業体験や農業体験など、町の生産者との交流イベントを定期的で開催。



ワインの販売、ランチの提供



海中熟成ワイン

体制図

(株)南三陸ワイナリー

食材提供
ワイン会
参加

周遊クルーズ
海中熟成

木工製品
藍染製品
制作依頼

ワインラベル
デザイン依頼

料理と合う
ワインの提供
ツアー協力依頼

漁師
農家

鉄工所

工房

神社
高校

飲食店
宿泊施設

南三陸町内事業者・団体

取組の成果

- 売上高 : 7.5百万円 (R1) → 48百万円 (R5)
- 雇用 : 2名 (R1) → 7名 (R5)
- ワイナリーツアー参加者 : 0名 (R1) → 150名 (R5)
- ワイナリーイベント参加者 : 50名 (R1) → 200名 (R5)

ウェブサイト▶ <https://www.msr-wine.com/>